

第196回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成26年3月6日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
片岡 真理
長 茂男

(2) 欠席委員の氏名 島田 恭子

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

1月3日に放送した生ワイド番組「B-BOX Friday HYPER!」について、
試聴と意見交換を行った。

事業者

この番組は、毎週金曜の午後1時から6時間の生放送スタイルで放送している
局の看板番組です。局アナ2人と、リポーターを務めるお笑い芸人カンカンが、
週末の金曜日を盛り上げるべく、音楽やトレンド、エンタメなど様々な情報と
軽快なトークを散りばめて構成しています。

今回は、新年1回目の放送ということで、通常の放送を少し変え、リポーター、カンカンが
番組内で恋人にサプライズでプロポーズを行うという企画となっています。

途中、様々な仕掛けを行いました。とにもかくにも番組終了までに、
このプロポーズが成功するのか否か? リスナーの期待感を煽る番組を放送しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

局の看板番組ということもあり、局アナ2人のコンビは、進行がとてもスムーズで、落ち着いて聞くことが出来た。特に、佐藤アナは状況描写が的確で、場面場面の様子がわかりやすくイメージ出来た。また、その場を盛り上げ、聞いているリスナーに期待感を持たせる効果に一役買っていた。

一方、井出アナも、佐藤アナのリポート中、落ち着いて番組を進行させていたし、途中のリポートを担当したADのトシさんは、ボケも面白く、とても好感の持てるナイスキャラと感じた。

委員：

お正月のおめでたい雰囲気の中、スペシャル感が感じられ、楽しんで聞くことが出来た。

サプライズ演出もあつたりと、ドラマティックな展開で次が気になり、ずっと期待感を持って聞けた。やはり、誰かが幸せになる話は、聞いていて温かな気持ちになる。

委員：

バッティングセンターでのデートを中継していたが、カンカンと彼女の会話が少しでも聞こえてくれば、より臨場感が感じられた。

委員：

二荒山神社でのプロポーズのシーンは、佐藤アナが登場することで番組としてきちんとまとめることが出来た。今回の企画の最も重要なシーンであり、その仕切りも見事だった。

委員：

番組の一番最後に、井出アナウンサーの入籍発表もあったが、番組を通してカンカンを盛り上げていたのに、持っていかれてしまった感じがした。ここで発表しなくてもと思った。

委員：

逆にそのオチが面白かった。この演出については？

事業者：

番組としての盛り上がりを見ると、賛否両論あるかと思う。井出アナは、元日にブログで入籍を発表しており、彼女の発表後初となる番組だったので、どこでそのことに触れるべきか検討した。結果、お笑い芸人であれば、このようなオチもありかと考えた。

委員：

この企画を放送したことで、カンカンの好感度が上がったのではないかと。

その素直なプロポーズの言葉に、彼の人柄の良さを感じた。

また、その後2人は無事入籍出来たのか気になる。その後のことも番組で伝えてほしいと思った。

委員：

テレビのバラエティ番組風の作りで、ドキドキとワクワクが感じられた。映像のないラジオでも、ここまでの企画に挑戦したことは評価出来る。とても頑張った企画ではないか。

もしかすると、ラジオでそこまでやらなくてもという声があるかもしれないが、むしろ番組を盛り上げようと、ここまでやってしまうところに面白さがあるのではないかと思った。

ラジオだって面白い企画が出来るんだということを、きちんと示すことが出来たと思う。今後もいろいろな企画に挑戦してほしい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を4月10日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 3月30日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし